

認知症を理解しよう

~誰もが安心して暮らせる街を目指して~

認知症は誰にでも起こりうる身近な病気です

加齢とともに発症リスクが高まりますが、若年性認知症のように比較的若い年齢で発症することもあります。そのため、いつ自分や家族、友人、知人が認知症になるか分かりません。決して他人事ではなく、「自分ごと」として捉え、関心をもつことが大切です。認知症の症状には、物忘れや判断力の低下だけでなく、感情の変化やコミュニケーションの困難さも含まれます。しかし、早期発見と適切な対応により、進行を遅らせたり、よりよい生活を続けたりすることが可能です。また、生活習慣の改善や社会とのつながりを保つことで、予防やリスクの低減にもつながりまます。私たち一人ひとりが認知症について正しい知識を持ち、理解を深めることで、認知症の人が安心して暮らせる地域社会をつくることができます。日頃から情報を収集し、周囲の人と協力しながら、認知症の人を支える一員になりましょう。

認知症には、多くの人に共通して現れる「中核症状」と、本人の性格や環境、人間関係などの影響によって生じる「周辺症状」があります。



徘

周辺症状

周囲の適切な対応で進行を 抑制し、改善される

無関心

意欲がなくなり、 外出しなくなる



眠

すべての人が発症する

記憶障害

何度も同じ物を買ったり、 同じ話をしたりする

見当識障害

時間や場所、人物が分 からない

不安・焦燥

財布を盗られた と騒ぐ

遂行機能障害

道具の使い方や料理の 手順が分からなくなるの

失語・失認・失行

言葉が出てこない。 身だしなみを整え られない



徊



怒りっぽくなる。怒鳴る





早めに相談・受診しましょう

認知症は、時間の経過とともに進行する病気です。完治 が難しいものの、早期発見と適切な対応によって、その 人らしい充実した暮らしを長く続けることができます。



早期受診によるメリット

メリット1

メリット2

メリット3

治る病気を見逃さない。

原因となる病気は さまざまですが、 早めに適切な治療 を始めることで改 善が期待できるも

のもあります。

進行を遅らせることがで きる場合がある

自分らしい人生を全う することができる

本合決きべ知備をおいたがでは、かっぱるからからがいったがでではををでいるがでいたがでいた。



認知症予防のポイント

食事

糖質や塩分を抑え、栄養素が豊富な食事を摂る

運動

適度な運動を生活に取り入れる

人とのつながり

地域活動やサークルに積極的に参加する

生活習慣病を改善し、健康意識を高めることで、認知症の発症リスクを 低減することが認知症予防につながります。「何かをしなければならな い」という意識よりも、いかに刺激のある日常を送るかが重要です。





認知症について学んでみませんか?

認知症サポーター養成講座

会場:地域の公民館や職場などへお伺いします。

時間:90分

費用:開催にかかる費用、参加費は無料です

申込み・問い合わせ: 45-7551 りゅうきんか 椎葉まで

4人に|人が 発症する 時代に突入





参番街

紅葉見学





新宮寺と高山運動公園にて紅葉見学を楽しんで来 ました。とてもきれいでした。









ショートスティ クリスマスケーキ

紅葉見学



今年も高山運動公園に 紅葉見学に行ってきま した。

色づいた銀杏の葉っぱ をお土産にされていま した [©]





花の寄せ植え



ってもおいしそうに食べておられましたよ。り付けていただきました。







今回初めて行事食のデモンストレーションを12月に通所で行いました。当日は、特養のご利用者様にも来て頂き、目の前で天ぷらを揚げている所を見ていただきました。普段なかなか出来ない体験に皆さん喜ばれていました。今回は天ぷらを提供しましたが、他にもケーキバイキングや握り寿司、写真には載せていませんが、松花堂弁当もあるようです。ケーキバイキングは、特養のご利用者様にも形態関係なく提供出来るので、季節や用途に合わせて敬老会や設立記念日など年に2回以上行事食を取り入れていければと思っています。





Sネット(あさぎり町福祉事業所連絡会)の事業所間交流 ビーチバレーボール大会に参加してきました まさかの3戦3勝った援も盛り上がりました(^^♪



上村小学校4年生38名を対象に「認知 症サポーター養成講座」を開催しまし た!当施設の介護支援専門員の椎葉が 講師、サポート役で同じく中村麗、井 上が参加して養成講座をしてまいりま した。

ゲームや寸劇などを交えながら、 認知症の方への適切な対応方法を楽し く学んで頂きました!



次号の「特集」は

福祉避難所

その取り組みについて

今号の特集記事 「計學部」這「

~誰もが安心して暮らせる街を目指して~

※画像については全て掲載同意いただいております

編集後記

令和7年3月4日

第10号「ヨリソウカタチ」をご覧いただき、ありがとうございます。 「ヨリソウカタチ」も記念すべき第10号を創刊させていただくこととな りました。また今回の表紙を飾るのは、紅葉見学に行った際、木々が色 づく中で、木漏れ日がさして来たので、思わずパチリとした広報委員の 作品です。風情があり、また広報誌を一読されている中、癒しの時間に なればとの事で提供頂きました。

感染症もある中、なかなか外出もできなかったので、ご利用者皆様の 喜ぶ笑顔と共に、癒しの時間となりました。これからも皆様に楽しみ、 喜んでいただけるような行事をまた取り組んでいけたらと実感しており ます。これからもどうぞよろしくお願い致します。

広報委員会(大森・中村・井上・椎葉・権頭)

- ●地域密着型介護老人福祉施設
- ●短期入所生活介護 (ショートステイ)
- ●通所介護 (リハビリデイサービス)
- ●居宅介護支援事業所

発行元:社会福祉法人東陽会

発行責任者: 権頭 重賢

編集:広報委員会